

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 25 年 2 月号 (第 33 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

「カフェ・バルコニーの家通信」
平成 25 年 2 月号をお届けします。
東京・千葉でも雪が降り積もりました。
寒さの厳しい毎日です。
防寒対策・乾燥対策をしっかりと、
風邪、インフルエンザに備えましょう。



撮影者：高橋秀明



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



初詣に行つて

早起きが苦手な僕にとって、朝 10 時 30 分に千葉中央駅に集合というのは、厳しかったが、5 日に石川さんから、予約なしでも来れる範囲内で来ればいからと温かい言葉をもらい初詣に行くことにした。

7 日は朝 7 時に起きて、いい目覚め。無事朝 10 時 30 分の約束も守れて、そこにはみんなの笑顔があった。千葉中央駅から千葉神社へは、みんなで歩いていく。歩きながらの何気ない会話が楽しい。途中 5 年前くらいに行った、小さい映画館があったのが懐かしかった。

そして、千葉神社に到着。お参りしておみくじを引いて、このころになるとみんなリラックスした雰囲気。集合写真も含めて、カメラを持っている人は、写真を撮りまくっている感じ。(集合写真の出来栄が楽しみ。)

この時には、時間もお昼近く。予約したお寿司屋へ。男中心のグループ、女中心のグループに分かれ、結果的には話がしやすく僕も助かったかも？ バルコニーのメンバーは通常料金の半分をお金を出せばいいとのこと。料理はお寿司と天ぷらが付いたかなりのボリューム。おいしい。食事中、I 君が、女の子に、「顔にわさびが付いていますよ。」と言って、女の子を困らせていたのが、おかしかった。(いたずら心?)。みんな食事を終え、寿司屋の前でまたパチリ。通りに出ると、昔よく言っていた CD ショップの入っていた、古いビルが取り壊されなくなっていた。

そして千葉中央駅に戻って、喫茶店に行ってコーヒーを飲みながら会話を楽しんでお開きとなった。

僕自身行って良かったし、みんなの笑顔があふれるいい機会だった。

(J.M.)



新年映画鑑賞会～人生ここにあり!!を見て～

1月5日新年最初の活動ということで映画鑑賞をしました。参加したメンバーは6から7人ほどでした。途中再生機の不具合でパソコンを使ってみるなどしましたが、画面は小さくとも声ははっきり聞こえたのでわりとしっかり観れました。内容は病院から精神病患者が出されてさあどうしようかという時、リーダーシップのある、ある男性が精神病患者を率いて仕事を始めるというストーリー。だんだんと増すメンバー間の結束の中いろいろなトラブルに見舞われながらもその結束で乗り越えていく姿は見る者に勇気を与えます。

特に依頼された床張りの板が足りなくなったとき、廃材をうまく使ってコンセプチュアルアートばりの絵柄に床張りをして依頼主に驚かれ、また賞賛された時は、障害を持っていても長所を活かせば「やればできるんだ」という勇気もらいました。

その後も困難が次々降りかかりますが、最後の方でリーダーシップのある精神病患者を率いていた男性が辞めてしまった時、それでも当事者だけになってまでも精神病患者が仕事をやり遂げようとする姿は感動的でした。

自分の中ではところどころ表現がきついな。こんな風に精神病患者は思われているのか。「いかれてる」ってひどいこと言うな、単純にドーパミン過多なだけなのに。そんなこと言わなくてもいいじゃないか。という思いも観ていてありましたが、この映画は同じ病気を持っている人にこそ見てもらい、この偏見と差別を終わらせる希望を灯すことの一助、引いては心の勇気を奮い起す起爆剤となってくれることを心から切に願います。



(高橋秀明)



防災訓練の一環で非常食を体験し(食べ)ました

1月5日、防災訓練の一環として、非常食を作り食べました。メニューは牛丼とカレーと鶏そぼろから選択をして、それに味噌汁が付きしました。

非常食を作る際は、まるで理科の実験のように感じました。なぜなら、白い粉に水をかけると沸騰するという現象を用いた、不思議な調理法をしたからです。

完成まで、30分ほど時間を置きました。私はカレーを食べたのですが、おいしく食べることができました。ただし、お米が固かったので、次回はいち少し時間を置いて作れば良いのではないかと思います。



茶道の実習について

1月5日に茶道の実習がありました。とても人数の多い中集まり、一人一人に対して眞知子先生にご指導していただきました。

8人くらいで懐紙を使って羊羹を食べご作法を勉強しました。

眞知子先生が一人一人に対し挨拶の仕方や礼儀を習得できるようにご教授してくださいました。こういった実習を継続していただければ、活気がついてとても励みになると思います。



(K.H)



浅草とスカイツリー・ソラマチに行ってきました

バスツアーで浅草探索とスカイツリーを見に行きました。青森出身ということもあり浅草の雷門がめずらしくてはしゃいでしまいました。

東京といえばラーメンかもんじゃ焼きかと田舎者の自分は思ってたのでお昼には梅干しラーメンを食べました。やはり東京のラーメンは違うなあという感じです。お土産に人形焼きも買って大満足でした。

ソラマチでは野郎ども5人で行動しましたが女性用の商品しか売ってなく場違い感がすごかった気がします。

(T.I)



地域の防災訓練に参加しました。

1月20日(日)地域の自治会が集まって防災訓練があり、カフェ・バルコニーの家のスタッフ・メンバーも参加しました。

美浜消防署の方が指導に当たり、救急通報、AED・胸部圧迫、三角巾の使い方、消火器操作の4つのテーマを実体験しました。


初めて経験する人、過去に体験していたが戸惑っている人、さっそうとこなしていく人、いろいろな人がいました。

メンバーも実際に体験し、防災活動を学びました。



カフェバルコニーの家からのお知らせ



-  1. カフェ・バルコニーの家では、毎月第1土曜日 10:00~12:00、神奈川県立精神医療センター 芹が谷病院院長川副泰成先生を迎え、「元気回復勉強会」を開催しています。
次回は2月2日(土)です。参加費用は無料です。問い合わせ・出席申し込みは、事務局(石川)まで
○電話 043(377)3502 090-8462-7460

2. カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成 24 年度賛助会員を募っています。入会金 2,000 円 年会費 3,000 円（1 口）です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。年会費 1,000 円からです。（郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家） 振込用紙は各郵便局にあります。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参いただいても結構です。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。（体験料 1 日 200 円）
5. 当会で 2 年間調理、接客訓練を受けた方は、国家資格・調理師試験の受験資格が得られます。（調理実習免除）
6. ボランティアさんを募集しています。調理・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、体験してみてください。

（問い合わせは 043-377-3502 簀下・石川・熊川まで）



ご支援ありがとうございました。



○ご寄付いただきました。

隅 修三様（10,000 円）

○賛助会員としてご支援いただきました。

森美恵子様、田井潤蔵様、田井倫子様、後藤君子様、内田雅恵様、中山葉子様、室井 滋様、小川裕二様、布施貴良様、井原純子様、川添泰成様、平澤泰明様、金井一美様、中山伶子様、岩本佳子様、上田都美枝様、白田良子様、田中英美子様、平村由美子様、小出幸子様、三瀬幸子様、廣瀬道子様、後藤 勝様（順不同）

これからも宜しくお願い致します。

<カフェ・バルコニーの家 通信 第 33 号 2 月号>

- 発行場所 : カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簀下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- Email : cafe-balcony.mihama@cnc.jp